

NO!リニア

No. 102

2017年11月16日

JR東海労働組合

利水者との協定未締結のまま 南アルプストンネル本線工事契約 川勝静岡県知事は遺憾を表明

JR東海は11月15日、リニア中央新幹線の南アルプストンネル本線工事について、大成建設、佐藤工業の共同企業体と土木工事の契約を結んだことが、本日付けの新聞報道で明らかになりました。工事区間は約8.9kmで、工期は本日から2026年11月30日までです。

この工区をめぐっては、JR東海と大井川下流利水者との間で、大井川流量減少対策を明記した基本協定の締結が先延ばしとなっています。まずは、利水者との合意が優先されるべきではないでしょうか。

このことを受け、川勝静岡県知事は「大井川の流量減少や自然環境の保全などの課題への対応が明確になっていない中での契約は遺憾。今後もJR東海の誠意ある対応を求める」とコメントしました。

川勝知事がJR東海に対して、「厳重に抗議し猛省を促したい」と見解を示したのは、10月の定例記者会見でした。今回のコメントからも、JR東海が誠実な態度を示してこなかったことが伺えます。もちろん、沿線住民に対しても、JR東海は不誠実な態度を貫いています。これは、建設ありきの傲慢な姿勢で、「異を唱えるものは排除」という考えではないでしょうか。

南アルプストンネル工事によって、相当な環境破壊、被害・犠牲が出ることは多くの人から指摘されているところです。直ちに工事を中止すべきです。